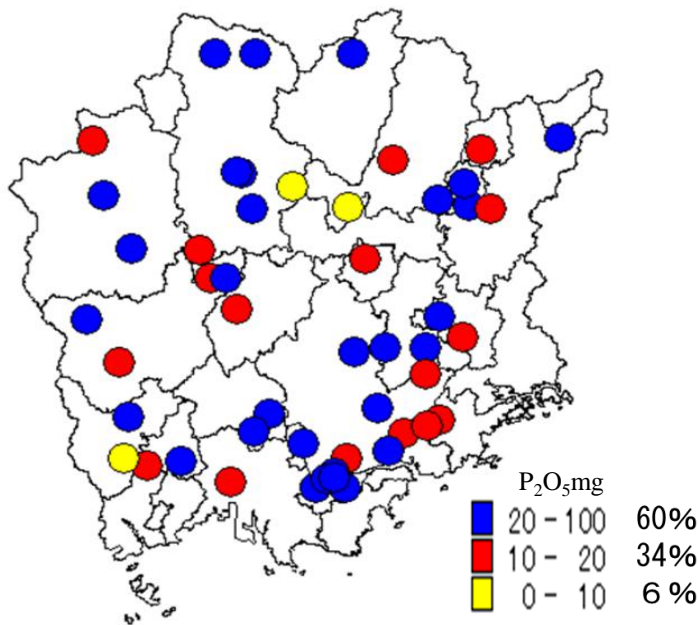


水稻栽培でのリン酸減肥 につながる指針の作成



県内水田土壤のトルオーグリン酸含量
(P₂O₅mg/100g 2011年 n=50)

リン酸減肥指針

水田土壤のトルオーグリン酸含量 (mg/100g)	リン酸施肥量 (kg/10a)
20以上	0 (無施用)
10～20	5 (現指針の半量)
10未満	8～11 (現指針の量)

開発のねらい

県内の水田では、長年続けてきた土壤改良の結果、リン酸が多い圃場が増えています。リン酸の多い圃場ではリン酸の減肥が可能ですが、どの程度減らすことができるかについて、これまで明確な基準がありませんでした。このため、土壤中のリン酸含量に応じた減肥指針を作成しました。

新技術の概要

- 水田土壤のリン酸含量が、乾土100g当たり20mg以上の圃場ではリン酸を施用しなくても減収しません。
- リン酸含量が10～20mgの圃場では、10a当たり5kgのリン酸を施用します。この量は粃のリン酸吸収量に相当し、これまでの施肥指針の半量程度です。
- リン酸含量が10mg未満の圃場では、これまでの施肥指針と同量の8～11kgのリン酸を施用します。
- なお、県内全域の50圃場の土壤中のリン酸含量を調査した結果では、約9割の圃場でリン酸減肥が可能なが分かりました。

活用場面

水稻栽培での施肥コストが削減でき、生産農家の収益性が向上するとともに、水田から河川へのリン酸溶出量が減少し、環境保全につながります。